

# 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	河川課
職	課長
氏名	越井 信行

<b>組織の使命・役割</b>	<b>何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か</b>
<p>洪水、津波または高波・高潮による災害から住民の生命、財産を守るために河川・海岸・湖沼等の整備を進めるとともに、被害の防止・軽減のため、雨量や水位情報等の提供強化による水防初動体制の迅速化を図り、安全・安心な県土づくりを促進する。</p> <p>人と自然が調和した河川・海岸・湖沼等の環境保全を目指し、地域と一体となった潤いと親しみのある水辺環境を整備し、水や緑が豊かで快適なふるさとづくりを推進する。</p>	



<b>組織の目標</b>	<b>使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か</b>				
<b>(定性的目標)</b>	<b>何をどのような状態にしたいか</b>				
<p>① 治水対策として河川改修整備を促進する。</p> <p>② 洪水等の災害に強い県土づくりを目指し、雨量や水位情報等の提供強化による水防初動体制の迅速化を図る。</p> <p>③ 水辺に親しみが持て、自然と調和した潤いとふれあいのある水辺空間の形成を進める。</p> <p>④ 波浪による海岸侵食を防止するとともに、公衆の快適な海岸利用を図るため、海岸の整備を促進する。</p>					
<b>(定量的目標)</b>	<b>具体的な指標、目標値を設定する</b>				
<b>目標とする成果指標</b>	<b>現行値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値の設定根拠(他県との比較など)</b>
① 計画期間内において、河川整備により浸水被害にあう恐れが解消される戸数	1,500 戸	R3 年度	2,800 戸	R6 年度	社会資本総合整備計画(R2年度～R6年度)
④ 計画期間内において、海岸施設整備により侵食被害又は高潮・高波被害に対して防護される区域の面積	13 ha	R3 年度	20 ha	R6 年度	社会資本総合整備計画(R2年度～R6年度)



<b>令和4年度に重点的に取り組むべき課題</b>	<b>左記の具体的な内容を記載する</b>
① 河川改修の促進	近年、浸水被害が多発している区間や沿川の都市化が著しい区間の河川改修を重点的に行う。
③ 潤いとふれあいのある水辺空間の形成 (親水護岸(※人々が水辺で楽しめるよう配慮された護岸)の整備)	環境保全型ブロックの使用の促進等により、潤いとふれあいのある水辺空間の形成を図る。
④ 海岸整備の促進	海岸保全基本計画に基づき、各海岸の特性に応じた海岸防護のための海岸保全施設等の整備はもとより、海岸環境の保全や多様化する海岸利用を推進する。